

レポートを書くために

桐朋学園大学音楽学部附属図書館 パスファインダー

2017年2月

◇ レポートを書く前に…

レポートとは

〈レポート report〉とは一般に「研究・調査の報告書」を意味しますが、授業内・学期末に課せられるレポートには内容によって様々なレベルのものがあります。

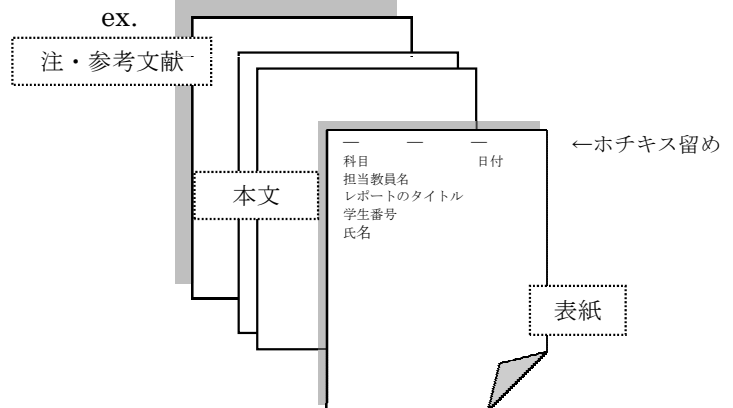
- ・感想レポート … 授業を受けて考えたことや意見を述べるレポート
- ・学習レポート … 授業や図書から学んだ内容を要約するレポート
- ・研究レポート … テーマに沿って資料を調べ、その内容を分析・考察して自分なりの結論を導き出すレポート

まずは、自分の作成するレポートがどのレベルのレポートなのかを確認しましょう。

レポートの形態

レポートは一般的に〈表紙〉〈本文〉〈注・参考文献リスト〉から構成されます。誰が作成したのかがはっきりと分かるように、表紙には次の5つの情報を忘れずに記載しましょう。

- 1) 科目
- 2) 担当教員名
- 3) 日付
- 4) レポートのタイトル
- 5) 学生番号
- 6) 氏名



作成前に確認

レポートの形態

各講義で指定されるものが異なります。レポートを書き始める前に必ず以下の項目を先生に確認して、指定に基づいて作成しましょう。

- 用紙サイズ … A4、B5 レポート用紙、400 字詰め原稿用紙
- 書き方 … ワードプロ、手書き、縦書き、横書き
- 分量 … 字数と枚数

◇レポート作成の基本ステップ

ステップ1：テーマを設定する

与えられた課題や自分の興味・関心に合わせて、レポートのテーマを絞ります。

ステップ2：関連資料を探す

●参考になる資料の種類

1. 事典・・・百科事典、人名事典、音楽事典や美術事典のような専門事典など
2. 図書・・・一般書、研究書、論文集など
3. 雑誌・・・学術誌、専門誌、大学紀要など
4. インターネット上の情報

インターネット上の情報にご用心！

インターネットでは誰もが自由に情報を書くことができるため、信頼性の低い情報も少なくありません。レポートに使用する際には、サイト管理責任者や文書の作成者、情報の出所が明示してあるものを選びましょう。

●資料を探す手順

1. 本学図書館が所蔵する資料を探す

探す前に確認

- ・シラバスや授業内で配布されたプリント資料をみて、参考文献が書かれていないか確認しましょう。
- ・授業に直接関連して指定された資料として、**指定図書**が講義ごとに用意されています。調布図書館2F閲覧室の**指定図書**コーナーに行って確認しましょう。

参考図書を活用

レファレンス協同データベース「調べ方マニュアル」で参考図書を紹介しています。

(図書館HPトップのリンクから閲覧可)

レポートのテーマに合ったものがないか探してみましょう。

展示スクエアを活用

図書館では〈作品を知る〉〈詩と音楽〉〈各国の音楽〉などのテーマを設定し、所蔵資料を紹介したパンフレットを用意しています。レポートのテーマに合ったパンフレットがないか探してみましょう。

資料を探すツール

→OPAC とカード

図書館で所蔵している和書、洋書にはOPACだけでは探せないものもあります。

まずはOPACで検索して、必要な資料が見つからなければカードでも探して

みましょう (カードBOXは仙川図書館カウンター右横)。

2. 近隣の図書館が所蔵する資料を探す※

白百合女子大学附属図書館 : 相互利用協定を結んでいます。館内閲覧と複写のサービスが受けられます(高校生不可)。学生証を忘れずに。

調布市立図書館 : 図書・雑誌、視聴覚資料の貸出、レファレンスなどのサービスが受けられます。学生証と在学証明書を提示して、利用カードを作る必要があります。

※ 詳しくは利用ガイド「白百合女子大学図書館の利用」
「調布市立図書館利用案内」を参照。

ステップ3 : 本文・参考文献を書く

資料を読んで得た情報や自分の考えを文章化していきます。何をどのような順序で書き進めるか、アウトラインを設定して書き始めましょう。

引用について … 資料に書いてある文章をそのまま本文に引くことを「引用」といいます。引用文は括弧「」でくくり、注を付けるか、あるいは括弧()付きで、どの資料のどのページから引用したのかを明記しなければなりません。

ex. 「……※1」と指摘している。 ※1 著者名『図書タイトル』(出版社, 出版年), 頁。
「……」(著者名『図書タイトル』出版社, 出版年, 頁)と指摘している。

参考文献について … 「引用」に使用した資料はもちろん、その他にもレポートを書くにあたって参考にした資料は、本文の最後に「参考文献リスト」を付けて明記します。インターネット上の情報を使用した際には**情報発信者とURL**を忘れずに。

なぜ引用には注を付けるのか？

最近ではパソコンが普及し、欲しい情報を簡単にインターネットで探せるようになりました。そのため問題となっているのが、インターネットで見つけた関連サイトの文章をそのままコピー、ペーストしてレポートにしてしまう学生が少なくないという現状です。これは著作権※を侵害する違法行為「盗作」「剽窃」に相当します。本や論文の丸写しも同様です。引用する際には必ずルールを守って情報源を記載しましょう。

※ 利用ガイド⑥「著作権を知る」を参照。

ステップ4 : 推敲して完成

最後に次の項目をもう一度チェックしましょう。

- ・誤字脱字
- ・表紙の情報(科目名、教員名、日付、レポートのタイトル、学生番号、氏名)
- ・文体「である調」「です・ます調」の統一



レポートに役立つ図書リスト

図書館ではレポート作成に役立つ図書を、調布2F閲覧室の「レポートの書き方コーナー」に用意しています。



ステップ1：テーマを設定する

に役立つ資料は・・・

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 新版, 講談社現代新書 ; 2021, 講談社, 2009.	W18-824
樋口裕一著『やさしい文章術 : レポート・論文の書き方』 中公新書ラクレ ; 73, 中央公論新社, 2002.	W18-673
小笠原喜康著『インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書 ; 1677, 講談社, 2003.	W18-675
リチャード J. ウィンジェル著『音楽の文章術 : 論文・レポートの執筆から文献表記法まで』 改定新版. 宮沢淳一, 小倉真理訳, 春秋社, 2014.	WR06-602
酒井聡樹著『これからレポート・卒論を書く若者のために』 共立出版, 2007.	WR05-014
河野哲也著『レポート・論文の書き方入門』第3版, 慶應義塾大学出版会, 2002.	WR05-016
吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』 第2版, ナカニシヤ出版, 2004.	WR05-018
村田千尋著『音楽の思考術 : より深く音楽を知るための実践的技法』 音楽之友社, 2000.	WR05-148
ケイト・L・トゥラビアン編『シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル』 改訂 ; 沼口隆, 沼口好雄訳, 慶應義塾大学出版会, 2012.	WR06-185



ステップ2：関連資料を探す

に役立つ資料は・・・

図書館の使い方

千野信浩著『図書館を使い倒す! : ネットではできない資料探しの「技」と「コツ」』 新潮新書 ; 140, 新潮社, 2005.	W18-669
井上真琴著『図書館に訊け!』 ちくま新書 ; 486, 筑摩書房, 2004.	W18-670
村田千尋著『音楽の思考術 : より深く音楽を知るための実践的技法』 音楽之友社, 2000.	WR05-148

インターネット活用法

小笠原喜康著『インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書 ; 1677, 講談社, 2003.	W18-675
井出翁, 藤田節子著『レポート作成法 : インターネット時代の情報の探し方』 日外アソシエーツ, 2003.	WR05-006

その他

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 新版, 講談社現代新書 ; 2021, 講談社, 2009.	W18-824
菊田千春, 北林利治著『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』 東洋経済新報社, 2006.	WR05-015
佐藤望編著『アカデミック・スキルズ : 大学生のための知的技法入門』 慶應義塾大学出版会, 2006.	WR05-017



ステップ3:本文・参考文献を書く

に役立つ資料は・・・

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 新版, 講談社現代新書 ; 2021, 講談社, 2009. ★	W18-824
石原千秋著『大学生の論文執筆法』 ちくま新書 ; 600, 筑摩書房, 2006.	W18-674
リチャード J.ウインジェル著『音楽の文章術 : 論文・レポートの執筆から文献表記法まで』 改定新版. 宮沢淳一, 小倉真理訳, 春秋社, 2014. ★	WR06-602
久保田慶一『音楽の文章セミナー : プログラム・ノートから論文まで』 音楽之友社, 2006. ★	WR04-887
井出翁, 藤田節子著『レポート作成法 : インターネット時代の情報の探し方』 日外アソシエーツ, 2003. ★	WR05-006
松本茂, 河野哲也著『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』玉川大学出版部, 2007. ★	WR05-009
酒井聡樹著『これからレポート・卒論を書く若者のために』 共立出版, 2007. ★	WR05-014
菊田千春, 北林利治著『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』 東洋経済新報社, 2006.	WR05-015
河野哲也著『レポート・論文の書き方入門』第3版, 慶應義塾大学出版会, 2002. ★	WR05-016
吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』 第2版, ナカニシヤ出版, 2004. ★	WR05-018
伊藤義之著『はじめてのレポート : レポート作成のための55のステップ』 嵯峨野書院, 2003. ★	WR05-020
村田千尋著『音楽の思考術 : より深く音楽を知るための実践的技法』 音楽之友社, 2000. ★	WR05-148
藤田節子著『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』 日外アソシエーツ, 2009. ★	WR05-530
慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員著『学生による学生のためのダメレポート脱出法』 慶應義塾大学出版会, 2014. ★	WR06-734

★注・参考文献の表記について説明あり



その他の参考資料

情報リテラシーについては・・・

奥村晴彦, 三重大学学術情報ポータルセンター著『基礎からわかる情報リテラシー : コンピュータ・インターネットと付き合う基礎知識』 技術評論社, 2007.	WS02-202
小関祐二著『学生のための情報処理とインターネット』 共立出版, 2005.	WS02-204

インターネット音楽著作権については・・・

安藤和宏著『インターネット音楽著作権Q&A』 リットーミュージック, 2003.	WR04-989
宮田昇著『学術論文のための著作権Q&A : 著作権法に則った「論文作法」』 東海大学出版会, 2008.	W18-713

授業の受け方、ノートの取り方など学習生活全般については・・・

北尾謙治[ほか]著『広げる知の世界 : 大学でのまなびのレッスン』 ひつじ書房, 2005.	WS02-203
東谷護著『大学での学び方 : 「思考」のレッスン』 勁草書房, 2007.	WR05-727
日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育ハンドブック学校図書館(高等学校)版作業部会編著『問いをつくるスパイラル : 考えることから探究学習をはじめよう!』 日本図書館協会, 2011.	WS02-448
佐々木健一著『論文ゼミナール』 東京大学出版会, 2014.	WR06-721